

平成29年度(2017年度)

管理事業名	千里山駅周辺整備事業				総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 10 千里山駅周辺整備事業費
部局名	土木部	予算執行所属	地域整備推進室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
千里山駅周辺整備事業						
<p><b>事業の目的と概要</b>          千里山駅周辺整備事業は、踏切の安全性、駅前都市機能の不足、都市計画道路の未整備、千里山団地の老朽化という地域課題を解消するため、駅前踏切を車両通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備するとともに、駅東側においては、自転車駐車場、コミュニティ施設、駅前交通広場、都市計画道路等の整備を都市再生機構団地建替えと総合的、一体的に行い、駅西側においては駅へのアクセス道路の歩道整備等を行います。</p>						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
全体事業費に対する執行事業費の割合	%	94	94	96	(執行事業費累計/総事業費)
道路整備完了延長	%	63	72	81	(道路整備完了延長/道路整備予定総延長)
成果の説明	<p>駅西側を中心とした都市再生計画に基づき、平成29年度は照明灯整備工事等が完了しました。今後は、平成30年度の事業完了をめざし、引き続き、駅西側の道路改良工事を進捗していきます。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	31,444	49,544	18,099
経常収入 小計(a)	-	31,444	49,544	18,099
経常費用				
給与関係費	32,185	23,726	18,206	△5,520
物件費	37,711	41,795	1,024	△40,771
維持補修費	-	-	4,514	4,514
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	150,569	16,830	13,098	△3,732
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,430	1,854	1,253	△601
退職手当引当金繰入額	△6,277	△5,053	△4,192	861
支払利息	11,038	10,195	9,722	△473
その他	-	-	11,354	11,354
経常費用 小計(b)	227,657	89,346	54,979	△34,367
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△227,657	△57,901	△5,435	52,466
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	20,224	3,810	58,392	54,582
特別収入 小計(d)	20,224	3,810	58,392	54,582
特別支出				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	44,363	44,363
特別支出 小計(e)	-	-	44,363	44,363
特別収支差額(d)-(e)=(f)	20,224	3,810	14,029	10,219
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△207,433	△54,091	8,594	62,686
一般財源充当額	197,965	175,455	127,117	△48,338
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△9,468	121,364	135,711	14,347

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等 経常費用	都市再生機構年賦償還金 10,352千円ほか
その他 経常費用	H28年度以前の財務諸表における仕区分分の誤り びゅう訂正 11,354千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	31,444	-	△31,444
行政サービス活動支出	237,628	96,946	49,933	△47,012
行政サービス活動収支差額	△237,628	△65,501	△49,933	15,568
投資活動収入	20,224	3,810	6,800	2,990
投資活動支出	29,068	228,210	9,936	△218,274
投資活動収支差額	△8,844	△224,400	△3,136	221,264
財務活動収入	81,400	180,500	2,000	△158,500
財務活動支出	32,893	46,055	76,048	29,993
財務活動収支差額	48,507	114,445	△74,048	△188,493
収支差額合計	△197,965	△175,455	△127,117	48,338
一般財源充当額	197,965	175,455	127,117	△48,338
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
(投資活動収入)	社会資本整備総合交付金 6,800千円
(財務活動収入)	(財務活動収入)
地方債	2,000千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成27年度	367,510 人	619 円	平成30年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり149円のコストがかかっています。
	平成28年度	369,522 人	242 円	
	平成29年度	370,072 人	149 円	
事業面積当たりのコスト	平成27年度	130,000 m <sup>2</sup>	1,751 円	事業面積1m <sup>2</sup> あたり423円のコストがかかっています。
	平成28年度	130,000 m <sup>2</sup>	687 円	
	平成29年度	130,000 m <sup>2</sup>	423 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	77,902	116,176	38,275
未収金	-	-	-	地方債	76,048	114,923	38,875
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,854	1,253	△601
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	68,271	123,626	55,355	固定負債	1,412,087	1,293,456	△118,631
有形固定資産	68,271	123,626	55,355	地方債	1,391,121	1,278,197	△112,923
土地	56,916	113,690	56,773	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	20,967	15,259	△5,708
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	11,354	9,936	△1,418	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	1,489,989	1,409,633	△80,356
固定資産	-	-	-	純資産	△1,421,719	△1,286,007	135,711
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	68,271	123,626	55,355	純資産の部合計	△1,421,719	△1,286,007	135,711
				負債及び純資産の部合計	68,271	123,626	55,355

Ⅲ 財務構造分析

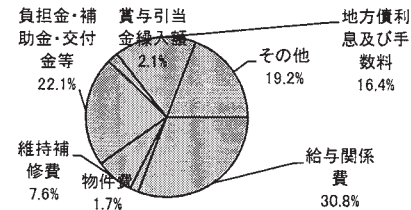
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	2.25 人				15,267
給与関係費等	15,267 千円				
内、時間外勤務手当	2,006 千円				

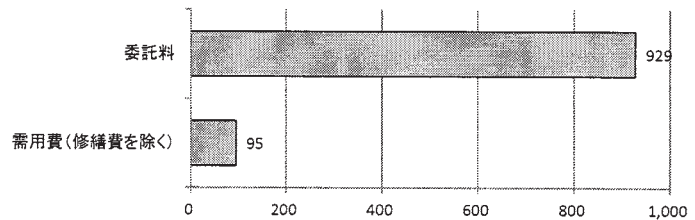
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	駅西側道路拡幅用地の取得による56,773千円の増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		66.1	47.3	93.5	46.2

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

千里山駅周辺整備事業は、社会資本整備総合交付金を活用し、事業を進捗しています。平成29年度は、駅西側における交差点改良工事等を整備しており、道路拡幅用地を取得したため、事業用資産が増加しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業完成に向け、引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、一般財源の負担軽減に努め、効率的、効果的に事業を実施していく必要があります。